

武尊山山行報告書

(山域) 武尊山(2,158m)

(コース) 林道終点駐車場～手小屋沢避難小屋分岐～武尊山～剣ヶ峰山～林道終点駐車場

(日時) 7月15日(水曜日)

(天候) 晴れ・曇り・山頂付近ガス

(参加者) CL:内堀(記録)・SL:辻本・鈴木忠勝・井上志津子・渡辺純子・佐々木文

(山行タイム) 駐車場 6:50～手小屋沢避難小屋分岐 7:50～武尊山山頂 10:15～剣ヶ峰山 12:00～
駐車場(武尊山神社口/宝台樹スキー場から上がる) 15:00

(山行報告)

前夜(火曜日)千葉駅北口 21:30 集合し、鈴木車にて出発する。途中、松戸駅にて井上さんを拾い、三郷南ICから外環道・関越道を進み、水上ICで降りた。時間も早くコンビニで買出しを行い、道の駅水上町水紀行館で若干の宴会を行い、就寝した。朝方眠い瞼を広げて起きた。4:30頃、着替え・テントを撤収して朝食をここに設置してあるテーブルで頂く。体が重いせいか中々口の中で消化が進まない。今日もこんな感じかな。車を飛ばし宝台樹キャンプ場目指す、この先が武尊神社である。武尊神社に向かい、その先に林道終点駐車場があるため、そこまで向かう。途中より林道は舗装路からダートになるが、道は思ったより走り易い。皇海橋に向かう林道に比べれば遥かに良い道であることが伺えた。時間も10分程で到着し、ここで駐車する。既に車は6台近くあり、平日にもかかわらず沢山の方々が入山している事が伺えた。

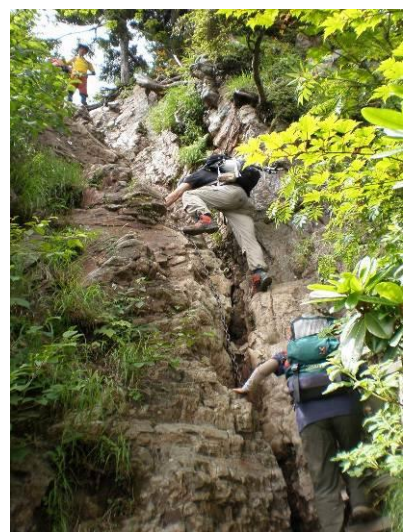


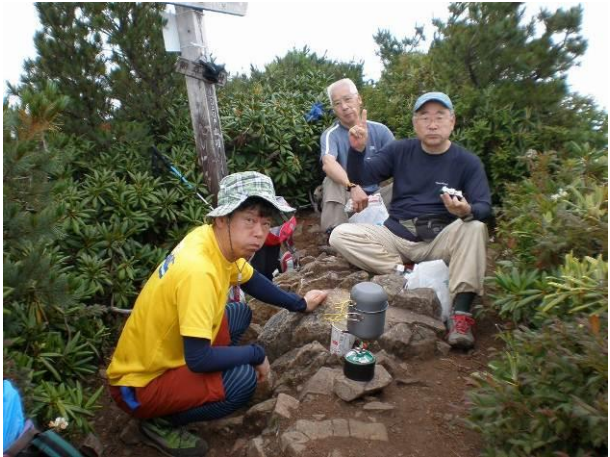
準備を整え出発する。林道ゲート(テープ)を抜け、林道を10分程度歩くと、手小屋沢避難小屋経由武尊山看板があり、左に折れ進む。緩やかな登山道を進むと1時間程度で手小屋沢避難小屋手前の稜線に出た。ここで休憩を行い、気を引き締めて出発する。傾斜が少しずつつきつくなり始めた頃に、岩が出現して鎖場が出て来た。この先の事を考え、ここで2回目の休憩をする。ゆっくりスタンスを決め岩場を乗り越えた。思ったほど簡単に登れた。後続の佐々木さんもスムーズな登りである。その後、縦走路と鎖場が交互に出現し4・5回鎖場を超えたあたりで、視界が開けた。山頂かと思いきや更にその先がある。10分程度で山頂に到着した。既に2人が山頂で休憩していた。途中ガスが発生し何も見えなかったが、時間とともに視界が開け、山頂到着した頃には、周りの山々が見えるようになっていた。前武尊や剣ヶ峰山が良く見える。剣ヶ峰に行く稜線がとても美しい。絵になるな一と思った。

記念撮影・景色を堪能した後、剣ヶ峰山を目指す。一気に登山道を駆け落ちるように下がり、また、一気に登りの登山道が出てくる。途中休憩を挟み、剣ヶ峰山に到着したのはお昼前であった。途中、休憩ポイントから武尊山の方向を見ると雲の間から見える武尊山はとても優美で山容の広がりがある山だと判った。また、ガスで見えなくなる等、天気の変り変わり女性のごとく変わりの激しい物であると、物思いに耽ってしまいました。

剣ヶ峰山山頂にて昼食を取り、あとは下山のみと高を括っていたが、ここからの下山1時間近く

は、木の根の枝を跨ぎ、足幅も大きくかなり鋭角に下山していました。木の根の土が少しずつなくなり、段差が付いてしまったものと思われる。この登山道は要注意である。
何とか傾斜の緩い場所で休憩を取り、途中、沢を何回か渡渉して元の林道に戻った時にはあと少しと思った頃に、突然の雨である。空は青空が見える。我慢して車まで向かい、下山終了した。車で谷川の湯テルメに向かい、温泉で汗を流し、赤城高原SAにて早い夕食を取り、あとは只ひたすら、千葉に帰って行った。車の中では迂闊にも爆睡してしまいました。運転手さんご免なさい。千葉駅に帰った時には台風の影響と思われる、雨も降り始めていた。
今週も荒川三山・赤石岳に登るぞと気合を入れ、電車に乗り込み自宅に帰りました。





以上